

元編集長が語る時刻表ウラ話 ～鉄道開業 150周年～

1. 時刻表（鉄道）の歴史

- (1872.10.15) 新橋—横浜間 鉄道開業（1日9往復） 開業式が14日
- 1873.9 「鉄道貨物運輸賃金表・列車時刻表」販売 初の市販時刻表
- (1889.7.1) 東海道本線・新橋—神戸間全通
- 1925.4.1 日本旅行文化協会から「汽車時間表」発売（JTB時刻表の創刊号）
- 1942.11月号 時間表→時刻表、12時間表記→24時間表記に
- (1949.6.1) 日本国有鉄道（国鉄）発足
- (1964.10.1) 東海道新幹線・東京—新大阪間開業
- 1967.10月号 A5判→B5判に 通巻500号
- (1986.11.1) 国鉄最後のダイヤ改正
- 1987.4.1 国鉄分割民営化 4月号から国鉄監修時刻表→交通公社の時刻表
- (1988.3.13) 青函トンネル開通（翌4.10瀬戸大橋開通）JR初のダイヤ改正
- 2009.5月号 創刊1000号
- 2025.4月号 創刊100周年（予定）

2. 時刻表の制作

- (1) 基本は前月号のメンテナンス 改正号はスクラップ&ビルト 頭切り(?)
- (2) STEP システム (System of Time data Editing & Producting) と Edian Wing
- (3) 資料の入手 資料の形→ダイヤグラムではない、JRは紙、私鉄はメールが基本
- (4) データ入力、割当、ページアップ、校正（1ページに4人の目）、追加・訂正

3. 時刻表の見方 ウラとコツ

- (1) 会社線・航空
会社線は観光地中心・必要区間のみ、航空は国内線全便・国際線は日本発着便
- (2) 列車配列の基準（左から右へ）⇔ 割当 右見て左見て
- (3) 逆引きの原則（パソコン・スマホなどの検索システムにも応用）
- (4) 接続の工夫 東海道新幹線・新大阪駅、内房線・君津駅など
- (5) 時刻表の買い時—臨時列車発表月（2月、6月、9月、11月号）とその翌月号

4. 時刻表あれこれ、時刻表のこだわり

- ・制作の難易度（資料の量、土曜休日ダイヤの有無、行き止まり線、割当の難易等々）

- 北陸本線、鹿児島本線、田沢湖線、各新幹線 ⇔ 行き止まりローカル線、千葉
- ・第3種郵便 1kgの攻防 軽い、強い、薄い 昔一部を裁断したことも
表裏ページの縦ケイ
- ・地図のこだわり 線路の分岐方向・交差位置 唯一の例外が宇多津駅
- ・ノドあけ 割り当ての工夫
- ・時刻表の3大危機 戦中戦後 JR時刻表発刊 ネット検索
- ・秒単位は切り捨て 土曜休日 (JRでは平日ということばは使わない)
- ・〇〇発×月△日運転 ⇔ ×月△日運転 日またぎの列車の表現
- ・ネットや携帯のデータも紙の時刻表があればこそ
- ・日本人の国民性

5. これからの鉄道の話

(1)新幹線の今後

- ・北海道新幹線 (新函館—札幌・約212km) の開業は2035年度予定→2030年度に (政府・与党による整備新幹線に関する作業部会での方針、5年前倒し)
新函館北斗、新八雲 (仮)、長万部、倶知安、新小樽 (仮)、札幌 ※約8割がトンネル
並行在来線 函館本線・長万部—小樽間は廃線 (?)
- ・北陸新幹線 (金沢—敦賀) 開業は2025年度予定→2024年春に
金沢、小松、加賀温泉、芦原温泉、福井、越前たけふ、敦賀 約125km
金沢—敦賀間最速43分、各停タイプで1時間、大阪—金沢間が2時間3分程度に、
東京—福井間2時間53分 (現在の米原乗り換えで3時間26分)
敦賀—京都間は小浜経由でルート決定、京都—新大阪間は松井山手経由の南回りルートで決定 ただし開業は2046年度?
- ・西九州新幹線 (九州新幹線・西九州ルート)・新鳥栖—武雄温泉—長崎間 うち武雄温泉—長崎間66キロが2022年9月23日開業予定 愛称名は「かもめ」
(現在営業中のルートは正式には九州新幹線・鹿児島ルート)
西九州新幹線開業により長崎本線肥前鹿島—諫早間は当面 (23年間) JR九州が運営
電化は一つ先の肥前浜までで肥前浜—諫早間は非電化区間となる
当初の予定では博多—新鳥栖間は現九州新幹線と共用、新鳥栖—佐賀—武雄温泉間は
在来線利用、武雄温泉—長崎間はフル規格新線。フリーゲージトレインによる運行を計画していたが、開発の大幅な遅れで導入を断念。在来線と新幹線を武雄温泉駅で対面乗り継ぎ方式で暫定開業。(かつての新八代駅と同様)
(新鳥栖、佐賀、肥前山口)、武雄温泉、嬉野温泉、新大村、諫早、長崎
博多—長崎間1時間50分~2時間 → 1時間20分程度に

(2)今のうちに

- ・特急「やくも」の381系電車、関西本線（大和路線）の201系など国鉄型車両
- ・長崎本線の特急「かもめ」、北陸本線の特急「サンダーバード」など
- ・留萌本線、木次線、芸備線（東城－備後落合間）、指宿枕崎線（指宿－枕崎間） など？

(3)新線・新駅・新列車関係

- ・2022年10月1日 只見線復旧 会津川口－只見間 11年3ヶ月ぶり
- ・2023年3月開業予定 宇都宮ライトレール・宇都宮駅東口－芳賀・高根沢工業団地 6～10分間隔 14.6km 将来宇都宮駅西口、東武宇都宮駅方面に延伸予定
- ・2022年度下期 相鉄新横浜線・東急新横浜線、羽沢横浜国大－新横浜－日吉間開業
相鉄線方面→（ピーク1時間あたり10本、日中4本）プラス新横浜始発（ピーク時4本、日中2本）→日吉→東横線（ピーク時4本、日中2本）・目黒線（ピーク時10本、日中4本）
新横浜－渋谷30分 二俣川－目黒38分
- ・羽田空港アクセス線 田町付近－東京貨物ターミナル－羽田空港新駅 2022年度着工、2029年度開業を見込む 東京駅－羽田空港 約18分（東山手ルート）
このほか新宿－大崎－大井町－東京貨物ターミナル－羽田空港（西山手ルート）、新木場－東京テレポート－東京貨物ターミナル－羽田空港（臨海ルート）
- ・2020年 中央線快速にグリーン車2両連結（④⑤号車）→2023年度末に延期→2024年度末（2025年3月頃？）に再延期
- ・地下鉄南北線・白金高輪－品川、地下鉄有楽町線・豊洲－住吉 延伸協議中
- ・2022年7月1日から JR 東海特急「ひだ」に新型車両 ハイブリッド方式 HC85系
- ・北大阪急行・千里中央－箕面萱野（みのおかやの） 2.5km 途中で箕面船場阪大前（みのおせんばはんだいまえ）駅設置 2023年度
- ・2023年度 東海道貨物線・（仮）北梅田駅→大阪駅開業 「はるか」「くろしお」等が停車。関連する なにわ筋線（大阪－JR 難波・南海新今宮）は2031年度 同時に阪急が大阪－十三－新大阪の新線を建設
- ・2024年度 大阪メトロ中央線・夢洲延伸 コスモスクエア－夢洲 約3.5km
2025年5月3日開幕の関西万博に合わせる
- ・2023年3月？ 福岡市営地下鉄・七隈線 天神南－博多駅間延伸 1.4km
- ・2023年春 JR 九州・日田彦山線 BRT で復旧 添田－彦山－日田 彦山－宝珠山間は専用道
- ・2023年夏頃 南阿蘇鉄道復旧
- ・2027年 JR 東海・リニア中央新幹線、品川－名古屋間開業 大阪までは2045年予定

以上